

誰もが安心して
往来できるように

持続可能な地域公共交通ネットワークを目指し 新たな地域公共交通計画を策定



市は、将来にわたって持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を目指し、地域公共交通計画を策定しました。本号では、新たに取りまとめた計画の概要をお知らせします。

市 民生生活の足を担う公共交通について、市はこれまで各種交通計画(表1)を策定し、バス路線の再編など利便性の向上に取り組みしてきました。しかし、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しており、利用者の減少や減便による利便性の低下などの問題は深刻となっています。

地域公共交通の課題

計画策定にあたり行ったヒアリングやアンケートの結果などから、市内の公共交通は次のような課題を抱えています。

鉄道

JR花輪線の利用者は年々減少を続けています。表2で見ると、平均通過人員は花輪線の全区間で、大きく減少しています。

路線バス

現在運行している5路線は、いずれも国の補助を受けて運行しています。しかし2路線については、国の補助要件

※表1 「八幡平市地域公共交通計画(平成20年度)」 「八幡平市地域公共交通実施計画(平成21年度)」 「八幡平市地域公共交通網形成計画(平成27年度)」

※表2

区間	収支(百万円)	収支率(%)	平均通過人員(人/日)※	
			1987年	2022年
好摩～荒屋新町	-682	5.4	1,561	346
荒屋新町～鹿角花輪	-492	0.9	915	55
鹿角花輪～大館	-721	4.7	1,646	448

※表3

路線名	輸送量(人)※
平館駅前線	16.8
八幡平マウンテンホテル(田頭経由)線	22.0
松川温泉線	15.9
八幡平マウンテンホテル(平館経由)線	12.2
大更駅前線	13.5

観光交通

市内の移動手段が不足しています。また、観光シーズンにはタクシー不足が発生しています。

路線・系統数が多く、複雑な運行となっています。また、利用者数は減少しており、利用者が無い便も発生しています。

タクシー

乗務員が高齢化しつつあり、インバウンドの回復を見込んだ場合には乗務員不足が問題となるほか、繁忙・閑散(時間・シーズン)の差による安定雇用が課題となっています。

市は、これらの課題に対応するため、令和6年3月に新たな地域公共交通計画を策定しました。計画では3つの基本目標の基、6年度から12年度までの7年間で取り組む項目を定めています。計画の実施にあたっては、関係機関と連携し、交通環境の利便性向上を図っていきます。

ピックアップ

PICKUP

地域公共交通計画の内容を

計画に掲げた方針と3つの基本目標の実現に向けて取り組み、具体的な内容を抜粋してお知らせします。

基本目標1
効率性と利便性を高め持続性のある地域交通をつくる

路線バス
現在の路線バス5路線を2路線(八幡平MH線と平館駅前線)に再編し、輸送量を確保することで国や県の支援を受けながら将来的に安定した運行の維持を実現する

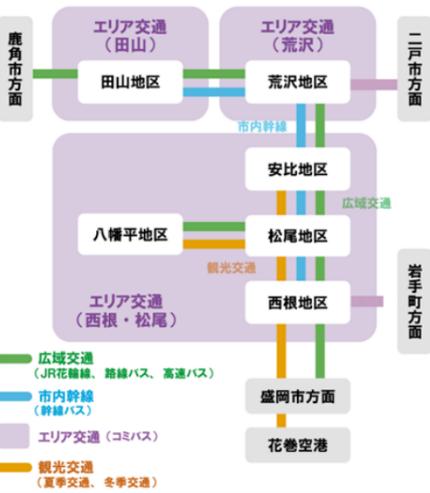
コミュニティバス

西根地区 移動ニーズに対応



足腰の弱い人やベビーカーの親子連れなどが利用しやすいUDタクシー

目指す公共交通ネットワークのイメージ



安代地区 受け付けと配車システムを導入し、デマンド運行の充実を図る

利便性の向上に合わせた運賃の見直しを検討し、運行効率を高める

鉄道・その他

- 通学定期券購入費補助金を継続する
- サイクルトレインの実現とサイクリングロードとの連携を進める
- 利用状況やニーズに応じて、幹線バスの経路の見直しやバス停の増設、ダイヤ見直しに取り組む
- 福祉団体など多様な主体による買い物ツアーなどの活動を支援する

基本目標2

子どもからお年寄りまで安心して頼れる地域交通をつくる

- 終電、終バス後のIGR好摩駅からのバスなどの運行により、盛岡からの帰宅に使える交通手段を確保する
- 免許返納時に公共交通利用券を助成する制度を継続
- (仮称)大更駅前顔づくり施設のほか、商業施設や医療施設と連携し、バス待ち環境を整備
- 公共交通の出前講座や体験乗車を積極的に開催
- ユニバーサルデザイン(UD)など乗り降りしやすい車両の導入を進める

基本目標3

訪れやすく、にぎわいを創出する地域交通をつくる

- 広域観光に対応したハイヤー車両の確保などを支援
- 安比高原周辺や松川温泉周辺などの交通不便地域における来訪者の移動手段の充実

各種の支援を行っています
市は交通や移動に関して、次の支援を行っています。詳しくは問い合わせください。

通学定期券購入費補助金
公共の交通機関を利用して高等学校などへ通学する生徒などに対して、通学定期券購入金額の10%を補助しています。
教育総務課教育総務係 (電話・内線1363)

運転免許自主返納者への支援
運転免許を自主返納した75歳以上の市民を対象に市コミュニティバス回数券またはタクシー券のいずれかを交付しています(1人につき1回限り)。
防災安全課地域安全係 (電話・内線1265)

福祉的移送サービス「福祉タクシー助成券」
重度の障がいがある在宅者で、自動車税などの減免を受けていない人に対して、タクシー料金の一部を助成しています(1枚600円のタクシー券を最大24枚交付)。
なお、障がい者手帳所持者のうち、一定の要件を満たす人の鉄道や路線バス、コミュニティバス、高速道路の利用料金は、いずれも5割引きになります。
地域福祉課障がい福祉係 (電話・内線1111)

■計画は市ウェブサイトで確認できます。
■問い合わせ先 まちづくり推進課(電話・内線1453)